



イオンモールで

木と触れ合うイベントが開催！

令和7年11月15・16日の2日間、イオンモール釧路昭和のサンコート広場で、「2025木育・森づくりフェア」が開催されました。

この催しは、木育の取組を通して、地域の方々に協働の森林づくりへの関心を高めていただくため、「釧路町村会」と「くしろ森と緑の会」が呼びかけ人となり、関係団体が連携し、実施しています。

会場には、釧路根室管内の木育・植樹活動等の様子や地域材を活用した木製品の紹介コーナー、「木育



▽ミニツリーづくりの様子

広場」「木工体験・木製遊具」コーナー等があり、賑わっていました。当センターは15日に、根釧西部森林管理署とマツボックリやドングリ、木の枝等の森林の素材を使ったミニツリーづくりを行いました。午前中は買い物にいられた高齢の方々がミニツリーづくりを楽しんでおられました。午後からは、ご家族で訪れる方が多くなり、親子で楽しんでおられる様子も印象的で、遠くから来られた方もいました。木の良さや温もりを改めて感じ、森林づくりへの理解を深めていただける催しとなりました。



▽完成した作品

中茶安別小でミニツリーづくり

令和7年12月2日に、中茶安別小中学校で、小学生を対象に、「ミニツリー制作体験」を実施しました。

この活動は、5回目となり、今年は、標茶森林事務所職員3名も参加の中で実施しました。

当日は、授業参観日になっており、保護者と児童と一緒に作成する様子もみられ、マツボックリやドングリ、木の枝等の森林の恵みを自在に組み合わせ、「ミニツリー」・「森林のいきもの」等、創造性あふれる作品を数多く製作し、会場は笑顔あふれる和気あいあいとした雰囲気



▽会場の様子



▽ミニツリーづくりの様子

に包まれていました。
あわせて昨年、好評であった木製の「オーナメント（ミニツリー）」・「フォトフレーム」づくりも取り入れる中で、次々とアイデアを生み出し、手を止めることなく作品づくりに取り組んでいました。このような子どもたちの姿を目の当たりにし、発想力・想像力の豊かさに感服するばかりでした。
保護者からは、「子どもたちの発想力ってすごいですね。」などの声がありました。この活動が、木や自然への興味を深めるきっかけになってくれれば、うれしく思います。

マルチャーの現地検討会に参加
令和7年12月5日、根釧西部森林管理署が主催する「マルチャーを利用した造林事業」の現地検討会に参加しました。
当日は、マルチャーの基本性能の説明、デモンストレーション、署の取組の紹介が行われ、関係者100名程が参加していました。
マルチャーとは、株式会社北都と株式会社ケービーエルが協働し、農業用機械にスペイン製のアタッチメントをつけて、改良を重ね、林業用大型機械に実装したものです。デモンストレーションでは、地拵



▽完成した作品



▽マルチャーのデモンストレーションの様子

・下刈・伐根処理の様子を見せていただきました。地拵では、土壌を鋤き込みながら進むので、よりスムーズに作業が行え、下刈や伐根処理も1分弱で処理できていました。
これまで導入されてきた大型機械地拵では、誘導伐の導入と併せてカラマツの爆発的な天然更新をもたらししていました。今後は、マルチャーによる鋤込み型地拵でも同等の効果があるのか比較・検証していくそうです。
署の取組を学べ、大型機械が実際に動いているところも見学でき、よい機会になったと思います。



国民の森林・国有林

林野庁 北海道森林管理局 釧路湿原森林ふれあい推進センター

〒085-0825 北海道釧路市千歳町6番11号

【IP】050-3160-5787 【TEL】0154-44-0533 【E-mail】h_kushiro_f@maff.go.jp

【URL】https://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/kusiro_fc/index.html



当センターは、根釧西部森林管理署が管理経営する国有林を主な活動区域として、フィールドの特徴を踏まえて、教育関係者、ボランティア団体・地域住民、企業、行政機関等の活動支援や技術指導を行っています。